

事業名 CD	0103010317	重度心身障害者医療費助成事業	
細分化した事業名		0	
事業担当課室 CD	200100	市民課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	地域の絆を深める福祉社会の実現	
	中項目	障がい者福祉の充実	
	小項目	0	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	山梨県重度心身障害者医療費助成事業補助金交付要綱
関連する事業	乳幼児医療費助成事業・ひとり親家庭医療費助成事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	重度心身障害者の医療費を助成することにより、経済的負担を軽減し、健康の維持増進を図る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	対象者→山梨県重度心身障害者医療費助成事業対象重度心身障害者。 対象医療費→上記対象者の医療費自己負担分 (自己負担分→小学校入学前＝2割、7歳から69歳まで＝3割、70歳以上＝2割)
これまでの改善経過	H20 窓口無料化 事業費実績 H17：76,430千円 H18：95,349千円
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ○委託 ○補助金 ○その他 (0) 対象 ・県補助＝医療費助成した額の1/2 ・申請期間・・・受診した日の翌月より2年間
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	・重度心身障害者にかかる経済的負担の軽減と医療の充実

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	90,395	113,129	112,288
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	45,197	54,764	58,158
	市債			
	その他			
	一般財源	45,198	58,365	54,130
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.16	0.16	0.16
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,104	1,105	1,092
D	総事業費(A+C) (千円)	91,499	114,234	113,380
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	3,535 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	浄化槽巡回指導実施件数	件	3,529	2,457	2,227
	清掃済浄化槽基数	基	2,179	2,003	1,824
	0 0	0 0			
成果指標	清掃済浄化槽割合	清掃済浄化槽基数/巡回指導件数(%) 1,824件/2,227件	61.75	81.52	81.90
	法定検査件数	件	522	620	464
効率指標	法定検査率	法定検査件数/巡回指導件数(%) 464件/2,227件	14.79	25.23	20.84
	1件あたりの費用	総事業費/浄化槽巡回指導件数(円) 3,628千円/2,227件	1,094	1,597	1,629

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 浄化槽の適正な維持管理を行うことにより、生活雑排水等による公共水域の水質汚染防止に効果があるので、設置者に対し定期的にな直接指導を実施することは妥当である。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 巡回指導を行うに当たり日程等について地区回覧をした時点で、浄化槽の保守点検・清掃（法第10条）を行うケースもあり、点検清掃に関しては成果が見られるが、法第11条に定める水質の定期検査（法定検査）については、実施率が低く実施義務についての認識が低い。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 委託費が平成16年度より半減し、委託費においてのコストは下降傾向にあり、ほぼ効率的である。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）	
	(1) 中長期的 巡回業務の委託先について検討を行い、有資格者の確保・協力を求めるよう整備を行う。	(2)23年度 有資格者が確保できるか、別の施策に切替えるか検討する
	(3)22年度 巡回指導の頻度について検討し、年1回の巡回実施の検討を行う。	
21年度の改善計画	管理台帳を整備し、改善報告を求め追跡指導を行う。	
21年度の改善結果	管理台帳の整備を一通り終えることができた。また、改善報告を求める方法を確立できた。	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 巡回指導を実施するにあたり、地区長・衛生指導員に周知徹底をしていただいております。今後も協力をお願いいたします。法定検査は浄化槽協会が県の指定により行っているが、市民の認識が低いので、中北林務環境事務所にも協力を要請する。		
課長所見	浄化槽の維持管理について徹底した指導を行い、水質を保全することにより住みよいまちづくりを行う。また下水道への接続促進及び合併浄化槽への切替を促進する。	